

影なき恐怖 (1956)

JULIE

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 99分
初公開日 1957/05/10
公開情報 MGM

【解説】
朗らかなアメリカ娘の典型をR・ハドソン共演のコメディなどで演じる一方で、ドリス・デイはこんなスリラーを幾つか残している。ヒッチコックの「知りすぎていた男」の成功があったせいだが、正にあの逸品の翌年に撮られたこのMGM作品は、彼女の恐怖演技をこれでもかと盛り込んだ、単純な二番煎じ。デイの演じる平凡な主婦（正にその平凡さが似合うゆえに、恐怖におののく様がリアルで、この路線も人気が出たのだが）は前夫の思い出を断ち切れずにいたが、新たな恋人（ルイ・ジュールダン）の熱烈な求愛を受け再婚する。しかし彼は、死んだ前夫の写真にすら嫉妬し、彼女の行く先々につきまとう異常者。たまらず行方をくらまし、やがてスチュワーデスとして働き始める彼女だったが、ある日、乗客の中に夫を見つけ戦慄を覚えるのだった……。手堅く演出された前半に比べ、後半はメタメタで笑ってしまうほど。まるでパニック映画になってしまうのだ。

【クレジット】
監督 アンドリュー・L・ストーン Andrew L. Stone
製作 マーティン・メルチャー Martin Melcher
脚本 アンドリュー・L・ストーン Andrew L. Stone
撮影 フレッド・ジャックマン・Jr Fred Jackman Jr.
作詞 トム・アドエア Tom Adair
音楽 リース・スティーヴンス Leith Stevens
出演 ドリス・デイ Doris Day
ルイ・ジュールダン Louis Jourdan
バリー・サリヴァン Barry Sullivan
フランク・ラヴジョイ Frank Lovejoy
ジャック・ケリー Jack Kelly
アン・ロビンソン Ann Robinson
メエ・マーシュ Mae Marsh